

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぎやらりー		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日 ～ R8年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 1日 ～ R8年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢層が幅広いので、未就学児から高校生までといった多年齢の中での活動をしています。自立心や社会性が育まれるような環境で支援をしています。	幅広い年齢層の中で、関わりや交流を増やしながら協調性や思いやりのある気持ちを育めるように職員も利用者から様々なことを教えていただきながら支援しています。	環境設備(点検・管理)をこまめに確認して快適な環境で過ごす。
2	農園活動、外食や社会見学など外出支援を積極的に行っています。	外食や公園に行ったり様々な刺激を感じながら充実した活動を行っています。今年始めたぎやらりー農園では、種植えや水やりなど、植物に触れながら自然の生命力なども知ることができたりと、めったに体験できないような活動も取り込んでいます。	ひとりひとりに適した支援を実践する。
3	充実したスタッフ配置	児童発達管理責任者を筆頭に看護師や保育士などの様々な資格職員を配置しています。それぞれの分野で研修の機会を設け、充実した支援が提供できるように努めています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のイベントに参加することがなく、他事業所や外部との関わりが少ないこと。	全員が参加することが難しく、保護者も望まれていない方が多数だったこと。	他事業所との連絡会などに積極的に参加する。交流を深めながらお互い情報を交換し、様々なイベントを楽しめるように計画する。地域などのイベントなどの情報があつた際は積極的に主催者に声をかけたりと参加していく。
2	保護者との情報共有・情報提供の徹底	非常時の対応や安全確保についての説明が欠けていたことがあつたので、契約時にも細かく説明してモニタリングの際にも再度説明をする。	外部にも情報をSNSなどで発信しながら周知をしていく。
3			